

埼玉県立新座高等学校

高二

和田 あすか

今から一年ほど前、自分が旅に出て汝水のほとりに泊った夜の、と、一睡してから、ふと眼を覚ますと、戸外で誰かが我が名を呼んでいる。声に衣じて外へ出てみると、声は闇の中からしきりに自分を招く。覚え、自分は声を追うて走り出した。無我夢中で駈けて行く中に、いつしか途は山林に入り、しかも、知らぬ間に自分は左右の手で地を攫んで走っていた。何か身体中に力が充ち満ちたような感じで、軽々と岩石を跳び越えて行った。気が付くと、手先や腕のあたりに毛を生じているらしい。

33 新座

埼玉県立新座柳瀬高等学校

高二

藤田 知也

今から一年ほど前、自分が旅に出て汝水のほとりに泊った夜の、と、一睡してから、ふと眼を覚ますと、戸外で誰かが我が名を呼んでいる。声に衣じて外へ出てみると、声は闇の中からしきりに自分を招く。覚え、自分は声を追うて走り出した。無我夢中で駈けて行く中に、いつしか途は山林に入り、しかも、知らぬ間に自分は左右の手で地を攫んで走っていた。何か身体中に力が充ち満ちたような感じで、軽々と岩石を跳び越えて行った。気が付くと、手先や腕のあたりに毛を生じているらしい。

33 新座